

新型コロナウイルス感染症を契機に問い直す

大学における 学生ボランティア 教育の展望

2022 **1/29** 土
13:00～16:00 (予定)

オンライン開催 **参加無料**

シンポジウムへの参加申込みは右のQRコード、または東北学院大学災害ボランティアステーションのホームページからお願いいたします



<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/volunteer/>



共催

大学間連携災害ボランティアネットワーク
東北学院大学災害ボランティアステーション
復興大学災害ボランティアステーション
東北学院大学地域連携センター

2021年度東北学院大学学長助成「災害時のボランティア活動者向け教育カリキュラムモデルの開発」

新型コロナウイルス感染症を契機に問い直す

大学における 学生ボランティア 教育の展望



「ボランティア元年」と称される1995年の阪神・淡路大震災の発生により「ボランティア」という言葉やその活動が広く社会に認知され、現在では様々な分野において、多様な活動が行われています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、現地や現場に向くことを前提とした、「直接的」なボランティア活動に制限が生じています。“新しい生活様式”という言葉が既に、広く人口に膾炙していることから、“ポストコロナ”におけるボランティア活動の実態を見据えると、学生ボランティアそのものについて、再考が求められるでしょう。

つまり、感染症対策といった個別の活動方法等の検討に留まることなく、大学におけるボランティア教育に関する根本的な問い直しが必要とされています。

今年度の大学間連携災害ボランティアシンポジウムでは、これまでの学生ボランティアの取り組みを振り返るとともに、ポストコロナにおける学生ボランティア教育のあり方を展望します。

プログラム

司会・進行：渡邊 圭 地域連携センター特任准教授

①開会のあいさつ

坂本 泰伸 地域連携センター長

②学長挨拶「学生ボランティア教育に期待すること（仮）」

大西 晴樹 学長

③パネルディスカッション「学生ボランティア教育の展望」

パネリスト：開澤 裕美氏 中央大学／佐藤 亜希氏 青山学院大学／
渡辺 信也氏 東北福祉大学／菱河 亮平 東北学院大学

コーディネーター：千葉 真哉 地域連携センター特任准教授

※各大学から約15分ずつの報告を行い、その後約40分の意見交換を行う

④閉会挨拶

泉 正樹 災害ボランティアステーション所長

問合せ先

大学間連携災害ボランティアネットワーク事務局（東北学院大学災害ボランティアステーション）

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1

東北学院大学 土樋キャンパス内 7号館2階総務部地域連携課

TEL：022-264-6562 FAX：022-264-6522 MAIL：tgvolu@mail.tohoku-gakuin.ac.jp